

シンポジウム6

多職種で実現する快適職場の新しいカタチ

コロナ禍における 多職種チームによる安全衛生委員会活動

株式会社環境管理センター 技術部長
高知大学医学部 客員助教
飯田裕貴子

発表内容

1. 環境管理センターの紹介
2. 環境管理センターで実施した参加型職場改善活動の内容
3. 産業衛生専門職を活かす為に必要な工夫
4. コロナ前後でのコミュニケーションの変化
5. コミュニケーションの変化に伴う工夫

1. 環境管理センターの紹介

- 環境調査・分析・コンサルタント業務を行っている会社



臭気を受託試験・研究



土壌地下水調査・分析



アスベスト調査・分析

環境管理センターの状況

- 従業員数は全体で約350人
- 事業場毎では数人～200人
- 産業医は嘱託
- 事業所毎に衛生管理者または衛生推進者が常勤
- 産業看護職および心理職は在籍していない
- 労働衛生技術職の枠に入る資格：
 - 作業環境測定士55人
 - 衛生工学衛生管理者1人
 - 労働衛生コンサルタント 3人

労働衛生技術職とは？

- 労働衛生技術職：作業環境測定士、オキュペイショナルハイジニスト、衛生工学衛生管理者など

【職務内容】

- 測定結果などから環境の状態を把握
- その結果に対して工学的・作業工程的な対策を提案
- 労働環境の管理に関する法令の改正や、新しい測定方法、労働環境改善の良好事例などの情報を集め、現場に必要な情報を選択して渡す

環境管理センターの状況について考察

- 他の企業に比べて労働衛生技術職の人数は、多い状況
- 多くの労働衛生技術職の業務は、社内の労働衛生管理や改善ではなく、他社の工場等での作業環境測定や測定結果に基づいた改善提案、化学物質のリスクアセスメントなど
- 自社内の労働衛生管理は、産業医、衛生管理者および衛生推進者、また安全衛生委員会が担っている
- 社外で経験を積んだ労働衛生技術職が安全衛生委員として産業保健活動に参加することで、良い影響を与えている可能性は予想される

2. 環境管理センターで実施した参加型職場改善活動の内容



事例報告の対象部署

安全衛生委員会の様子



手前からセンター長、副センター長、衛生委員、産業医。 右:安全衛生委員たち

事例：「新型コロナウイルス感染症に対する安全職場対策シート」を使用しての産業保健活動

参加型職場改善活動（Participatory Action-Oriented Training）の歴史：
1976年に国際労働機関（ILO）の支援による、労働条件環境改善プログラムとして開発

コロナ禍において

- 厚労省「職場における新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するためのチェックリストなど」、2020年5月14日
- 広島県「広島県 新型コロナウイルス感染症に対する安全職場対策シート」、2020年5月13日



- 安全職場対策シートをメールにて配布し、意見の集計および従業員の意見に基づいた新型コロナウイルス感染対策を実施



参加型職場改善活動 実施の手順

1. 良好事例投票 (ポストイット・コンテスト)



良好事例の写真選出



各グループでテーマに最も適した
良好な写真を選ぶ

- ・ 良好事例を学ぶ
- ・ グループワークを始める前のエクササイズ



ベスト・良好事例
の選出

参加型職場改善活動 実施の手順

2. アクション・チェックリスト実習

C 職場の人間関係・相互支援		
18	必要な時に上司に相談したり支援を求めたりしやすいコミュニケーション環境を整備します	提案しますか？ <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> 優先する
19	上司は皆が自分で問題解決できるよう励まし、適切な助言をします	提案しますか？ <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> 優先する
20	上司はえこひきせず、思いやりをもって接します	提案しますか？ <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> 優先する
21	職場内の問題を同僚間で報告し合い、相談しやすいように、小会合や日報、ミーリングリストを活用します	提案しますか？ <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> 優先する
22	仕事に対する評価として、日頃から意識的にほめたり、ねぎらったり、お礼を言ったりします	提案しますか？ <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> 優先する
23	従業員同士がお互いを理解し助け合う雰囲気が生まれるよう、懇親の場や勉強会の機会を持つなど工夫します	提案しますか？ <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> 優先する
24	学校、育児、介護など、個人のライフスタイルに応じて、勤務調整ができるようにします	提案しますか？ <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> 優先する
D 安心できる職場のしくみ		
25	個人の健康や職場内の問題、職場のパワハラ、セクハラ等について相談できる窓口を設置します	提案しますか？ <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> 優先する
26	職場の将来計画や見通しについて、いつも周知されているようにします	提案しますか？ <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> 優先する
27	仕事に対する適切な評価を、納得できるようなタイミングで受け取ることができるようにします	提案しますか？ <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> 優先する
28	いろいろな立場の人（若年、高齢、女性、パート）が職場の一員として尊重される働きやすい職場にします	提案しますか？ <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> 優先する

アクション・チェックリストとは

- 参加型職場改善活動をするためのチェック項目が書いてある
- 良い事例、改善するための提案が書かれている。
- 備考はメモ、自分の考えを書く

アクション＝
参加型職場改善活動

「いきいき職場づくりのための参加型職場環境改善の手引き」より

参加型職場改善活動 実施の手順

3. グループ・ディスカッションおよび発表⇒改善活動の実施

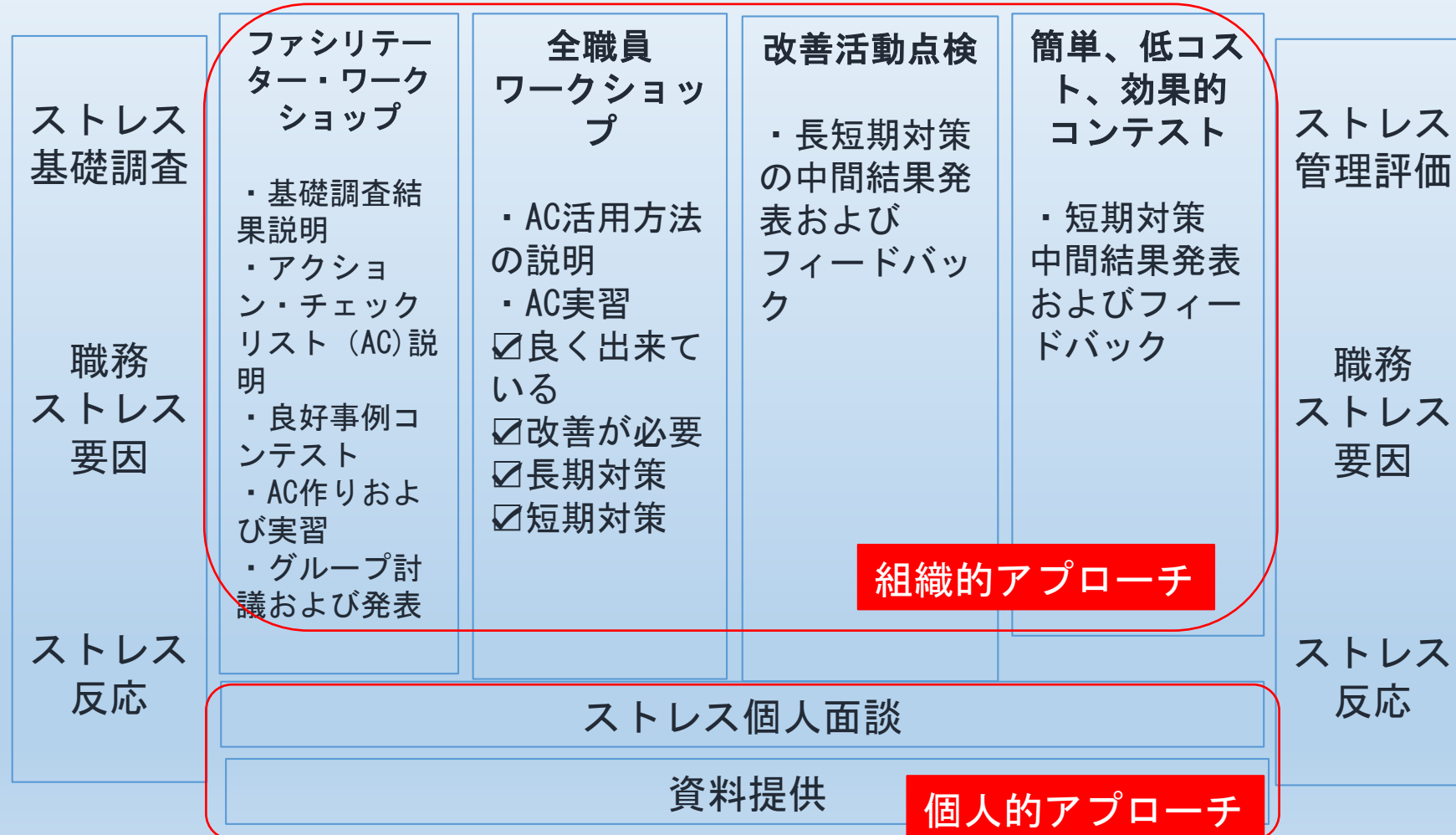


- ・ 各自がアクションチェックリストに記入後、グループディスカッション
- ・ 長期改善点、短期改善点の選び出し

- ① ポジティブなアプローチ
- ② ボトムアップの合意形成
参加者がグループ討議で多領域改善策を選定する
- ③ 段階的な解決策の実施



韓国にて行われた職務ストレス管理プログラムの内容



普段の参加型職場改善活動の流れ

良好事
例投票

アクション
チェック
リスト
を使った
職場
チェック

グループ・
ディスカッ
ションと発
表

職場改善
の実施

改善報告

今回の参加型職場改善活動の流れ

● 良好事
例投票

● アクシヨ
ンチェツ
クリスト
を使った
職場
チェック

● グループ・
ディスカッ
ションと発
表

● 職場改善
の実施

● 改善報告

「新型コロナウイルス感染症に対する安全職場対策シート」を使用しての産業保健活動の実施日程および活動内容(時系列)

日程	活動内容
2020年6月2日	<p>① 労働衛生技術職よりコロナ対策として「新型コロナウイルス感染症に対する安全職場対策シート - 広島県版」をベースに質問票を作成し、改善活動を行うことを衛生管理職に提案。</p> <p>② 次回の安全衛生委員会で提案することに決まった。</p>
2020年6月4日	<p>③ 安全衛生技術職より、安全衛生委員会にて、「新型コロナウイルス感染症に対する安全職場対策シート」を使って、不安に思っている点、対策の課題抽出を行う手法の説明、実施の提案を行った。</p> <p>④ 実施の承諾を得る。弊社は調査グループ、分析グループとグループ毎に働き方が異なるため、グループ毎に集計を行う事に決めた。</p> <p>⑤ 衛生管理者から社内メールにて「新型コロナウイルス感染症に対する安全職場対策シート」を技術センターおよびアスベスト対策事業部の社員に配布。</p>

2020年6月10日

- ⑥ グループ員からの回答を、各グループの安全衛生委員に提出。
- ⑦ 安全衛生委員から集計データを衛生管理者に提出。

2020年6月20日

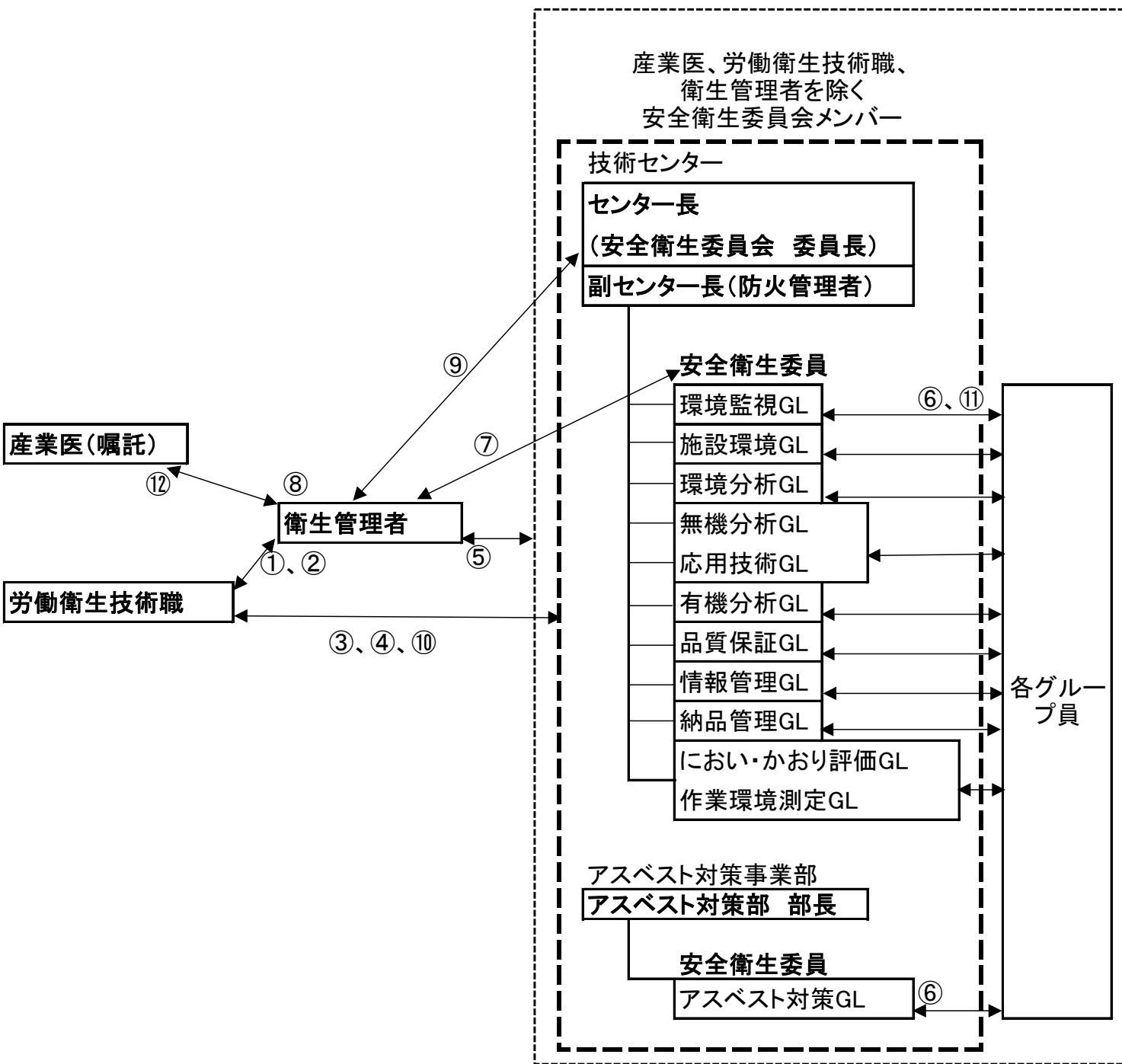
- ⑧ 衛生管理者が各グループのデータまとめを作成。
- ⑨ 衛生管理者が、センター長と副センター長に結果報告および今後の取り組み方について相談し、対策の方向性を決定。

2020年7月2日

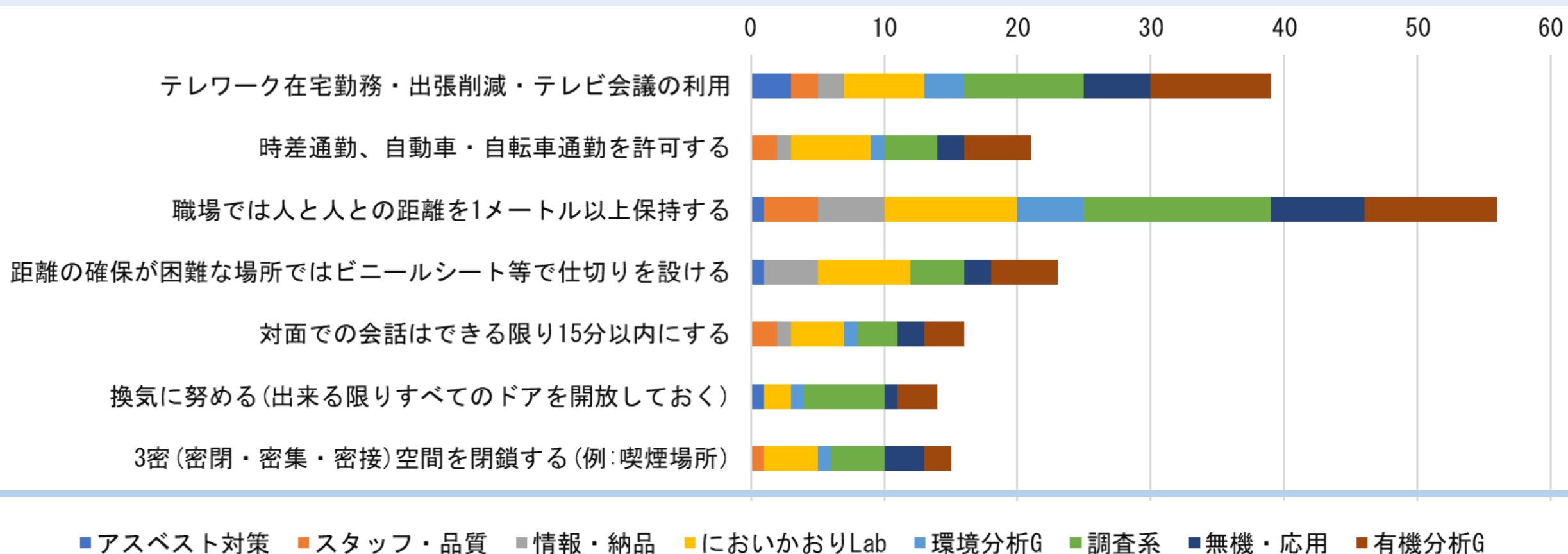
- ⑩ 衛生管理者が社内メールにて、「新型コロナウイルス感染症に対する安全職場対策シート」の結果と、今後の取り組み方方針を安全衛生委員に対して配信。
- ⑪ 各グループ毎に、安全衛生委員を軸に改善活動を実施。
- ⑫ 安全衛生委員会にて「新型コロナウイルス感染症に対する安全職場対策シート」取り組み結果を産業医に報告

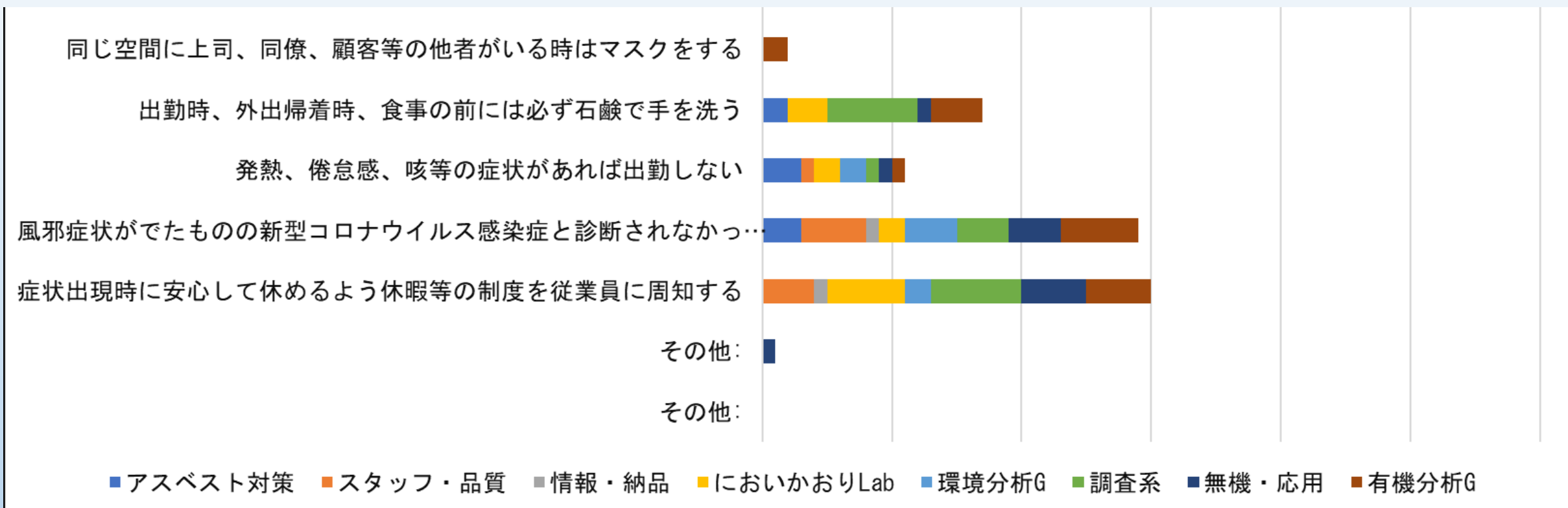
新型コロナウイルス対策を目的とした産業保健活動 役割と活動フロー

- どの役職がどんな役割を担ったのか



改善提案数



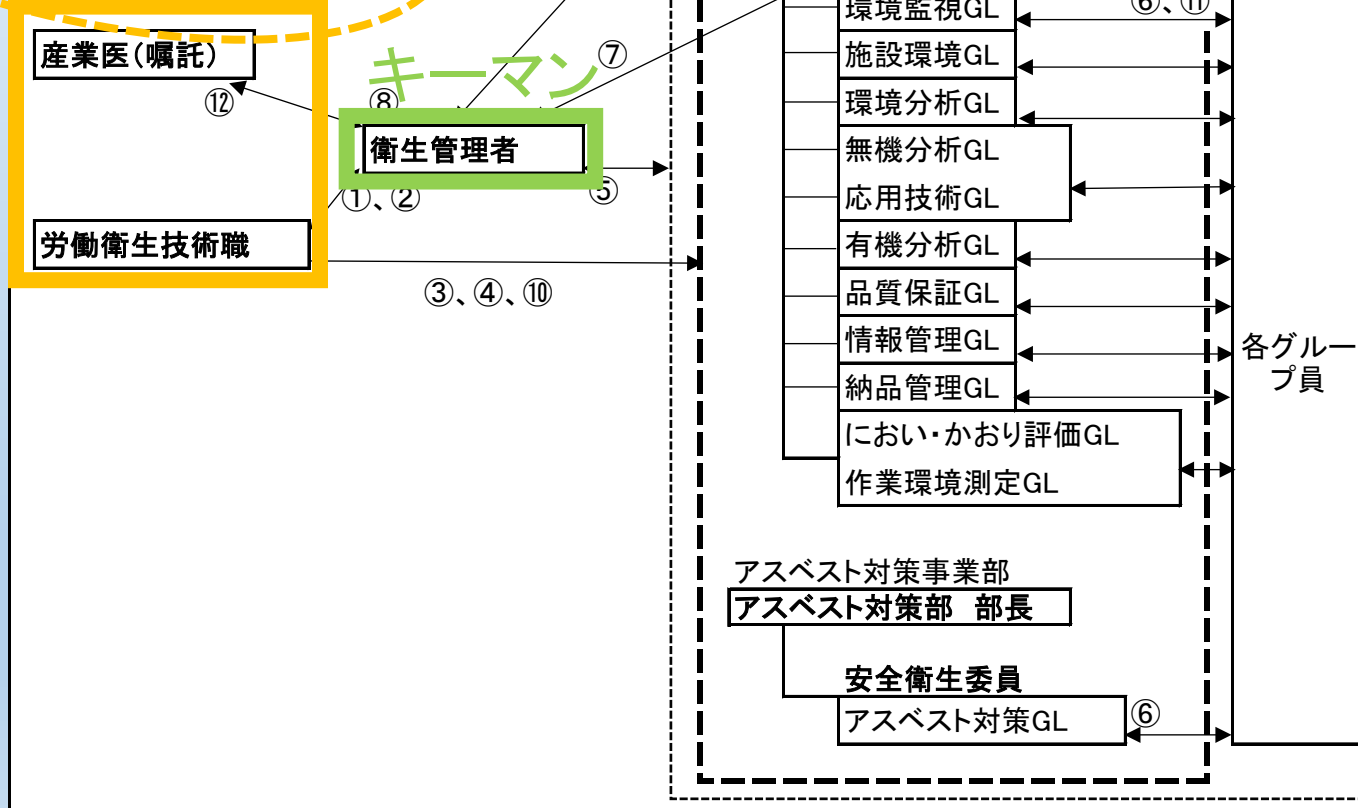


- 8つのグループから、合計 **315** の意見が集約された
- 質問票を使うことで、常時よりも多くの問題個所の提起、改善提案があった
- **対面ではない方が、意見を出しやすい社員もいるのかも**（コミュニケーション方法の変化に伴うメリット）

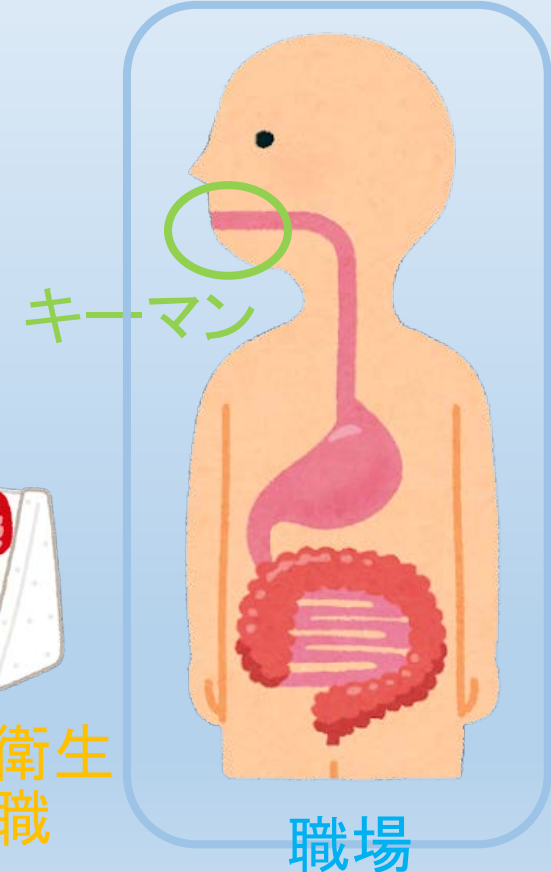
3. 産業衛生専門職を職場で活かす為に 必要な工夫

外部専門機関
外部専門家

産業衛生専門職



産業衛生専門職の外部ネットワーク、専門的な情報を職場で活かす為には、職場と産業衛生専門職をつないでくれるキーマンが必要

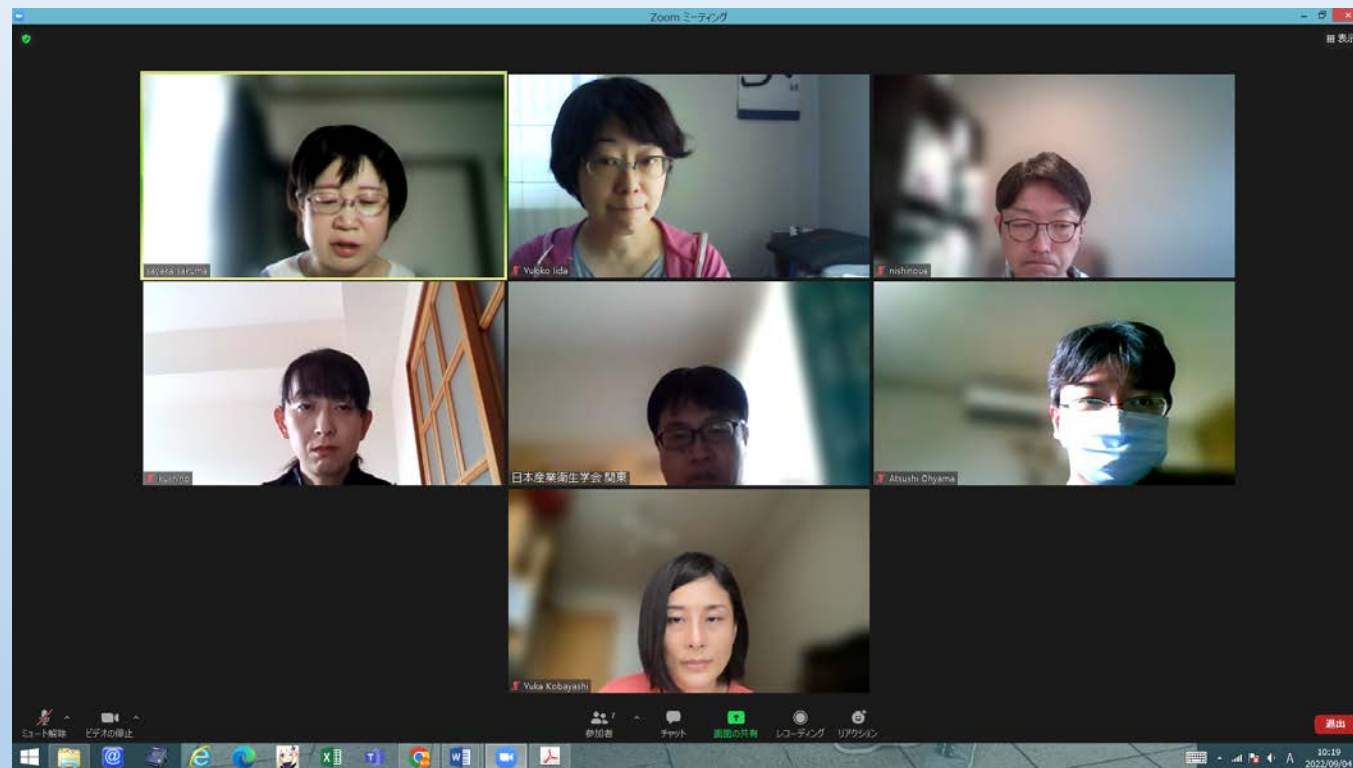


4. コロナ前後でのコミュニケーションの変化

2019年8月25日 打合せ



2022年9月4日打合せ



メリット: 移動時間が必要ない、隙間時間で参加できる

デメリット: 必要な打合せ以外の雑談がしづらい。情報量がやせる

5. コミュニケーションの変化に伴う工夫

環境管理センター内での取り組み

部署ごとに、それぞれのコミュニケーションに合ったアプリ(asana、Notionなど)を使用してコミュニケーションの補強を実施

(例) asana

- 物件ごとにプロジェクトというルームを立ち上げて、その中でタスク(やること)と担当者、進捗確認を行う
- 誰に何を頼んだ頼まれたや、言い忘れ防止
- 進捗の見える化

コミュニケーション形体が良くも悪くも変化している状況で、メリットはとりつつ**コミュニケーション不足、認識のキャッチボール不足を補うべくアプリ等で補う**工夫を行っている。

今後も、働き方の変化が良い変化を社内に与えるように、継続した工夫が必要。

まとめ

- 環境管理センターで、コロナ禍中ということがあり普段と異なるメールベースで参加型改善活動を実施
- 産業保健専門職を有効活用するためには、職場と専門職をつなぐキーマンが必要
- アクションチェックリストの集計結果より、普段より多い改善提案があった
- 対面ではない方が意見を言いやすい人もいる可能性あり(コミュニケーション方法には、まだ工夫の余地あり)
- コロナ前後でコミュニケーション方法が変化している
- 変化のメリットはとりつつコミュニケーション不足、認識のキャッチボール不足を補うべくアプリ等で補う工夫が必要

ご清聴、ありがとうございました